

福岡県連協ブロック別地域学習会終わる！！

30自治体より200名以上の参加者

議員・行政担当・学童運営者・保護者・指導員

《ブロック別学習会を終えて》

9月～11月にかけて7会場で開催いたしました。各地の学習会に多くの議員、行政担当、学童保育運営者、保護者、指導員約200名以上の参加者があり、“子ども・子育て支援法”と“学童保育条例”への関心を高めるきっかけとなりました。参加者の構成からみると指導員が多く、保護者の参加がまだまだ少なく、制度の大変革の時期に当事者である保護者の関わりを高めることが課題になります。

今、厚労省の基本指針がまとめられる段階にありますが、各市町村がどのような学童保育条例をつくるか、作成主体となる市町村（議員を含め）の理解度とそれを高める上での保護者や指導員をはじめ、学童保育関係者の役割が一層重要になっています。

今後、学習会に参加していない自治体（保護者、指導員、議員等）への働きかけ、そして参加した地域の方々とはつながりを深めながら、県連協としての情報発信、提案をしていきます。

参加者のアンケート

・新制度についての予備知識があまりない状態でしたが、本日の学習会で細かい内容等良く理解できました。2015年の施行まで、まだまだ長い道のりですが、常にアンテナを立てて情報を得ていかなければならないと思います。より良い学童保育の実現に向けて、これからどのように動いていくか、どのような話し合いを重ねていくのか、大いに関心を持っていきます。

（指導員）

・私たちが子どもたちの声を代弁していかなければいけないと改めて感じました。（指導員）



●筑後会場<サンライフ久留米>11月3日

・保育について、指導員が責任を持って専門性を発揮でき、（あるいは専門性が担保できるような）培った経験をきちんと継続して働き続けられるようにするか、全体の条件をどう底上げするかは大切であると考えます。これは多くの女性が働く現場に共通することです。

（議員）

・これから、より良い環境になるために保護者も協力し、積極的に働きかけ、要望や意見を出し合うことが大切だと思います。子どもたちの為にできる事を考えていきたい。（保護者）

・県・国からの情報よりもより詳しい内容で現場からの要望が聞けてとても良かったです。今度学童保育クラブと共に条例の見直し、条件整備、環境整備を行っていききたいと思います

（行政関係）

・私たちの学童は無認可なので、是非条例で市に認めてもらいたいと思いこの勉強会に参加した。とてもためになった。（指導員）

